

## 第 3 期西条市総合計画 策定方針

## 1 総合計画の位置付け

総合計画を構成する「基本構想」に関しては、平成 23 年の地方自治法の改正により、基本構想の法的な策定義務が撤廃され、市独自の判断に委ねられることとなった。しかしながら、総合計画は市の総合的かつ長期的な行政運営の指針であり、その将来都市像や本市の目指すべき姿を市民と共有することは、持続可能なまちづくりに必要不可欠な要素であることから、これまでと同様に総合計画を市の最上位計画として位置付け、第 3 期西条市総合計画を策定することとする。

## 2 策定の背景・趣旨

平成 27 年 3 月に「第 2 期西条市総合計画」基本構想を策定し、現在令和 6 年度を目標年次とする基本計画（前期・後期）により計画の実現に取り組んでいるところであるが、少子高齢化・人口減少は一層進行しており、経済状況の変化や安全・安心に対する意識の高まり、高度情報化社会の進展や市民ニーズの多様化等、社会情勢は刻一刻と変化している。

第 3 期西条市総合計画は、第 2 期総合計画における施策や事業の成果を検証し、第 2 期総合計画策定後の社会経済情勢の変容にあわせ、時代の変化・本市を取り巻く環境や抱える課題に的確に対応できる計画となるよう、市民と行政が一体となって計画策定に取り組むこととする。

計画名	期間等
第 1 期西条市総合計画	平成 18 年度から平成 27 年度までの 10 年間。 前期基本計画：平成 18 年度～平成 22 年度 後期基本計画：平成 23 年度～平成 27 年度
第 2 期西条市総合計画	平成 27 年度から令和 6 年度までの 10 年間。 ※合併 10 周年を迎えること及び新市建設計画の変更等の事由により、1 年前倒しで策定） 前期基本計画：平成 27 年度～令和元年度 後期基本計画：令和 2 年度～令和 6 年度 （後期基本計画は、西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体的に策定）

## 3 総合計画の体系

第 3 期西条市総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画をもって構成する。

## (1) 基本構想（構想期間：10 年間）

本市が目指す将来都市像とまちづくりの基本目標を明らかにし、政策を総括的に取りまとめたもの。市民と行政が共有する長期的な将来ビジョンとなるよう策定する。

(2) 基本計画（計画期間：前期 5 年、後期 5 年）

基本構想に掲げる「まちづくりの基本目標」「将来都市像」「将来推計人口」を実現するため、バックキャストで取組む具体的な施策内容を体系的に示すもの。社会情勢の変化等に的確に対応するため、中間年次に見直しを行う。

(3) 実施計画

基本計画に基づき、今後 3 か年に予定する各予算事業について、具体的な内容を明らかにするもの。総合計画の政策体系の中での位置付けを明確にし、実施予定の事業を計画的に推進する。

#### 4 デジタル田園都市国家構想総合戦略との関係

第 2 期西条市総合計画・後期基本計画と同様に、総合計画と総合戦略を一体的に策定することにより、市の方向性の一元化と数値目標の効率的運用を図る。

#### 5 策定体制

(1) 市民参画

ア 市民アンケート調査（令和 5 年度実施済み）

市民の市政に対する意識・要望等を把握し、総合計画策定の基礎資料とするため、18 歳以上の市内在住者 5,000 人を対象としてアンケート調査を実施した。

調査対象	市内在住者 5,000 人（最終配布数 4,988 通）
回収数	1,570 通（回収率 31.5%）

イ まちづくり検討会〔市民ワークショップ〕（令和 5 年度実施済み）

市内関係団体から推薦された方や市若手職員等が参加し、分野ごとに分かれてまちづくりの在り方を議論した。

開催日程	令和 5 年 8 月～9 月 計 3 回実施
構成員	市内関係団体、市若手職員 計 6 1 人

ウ 高校生アンケート調査（令和 5 年度実施済み）

今後のまちづくりに対する高校生の意向を広く把握し、将来のまちづくりの方向性に反映させることを目的として、市内高校 1、2 年生を対象にアンケート調査を実施した。

調査対象	市内高校 1、2 年生 1,355 人
回収数	952 通（回収率 70.3%）

エ パブリックコメント（令和 6 年度実施予定）

策定作業の中でパブリックコメントを実施し、広く市民からの意見を聴く。広報・HP・SNS 等を通じて可能な限り情報発信を行い、“開かれた計画づくり”に努める。

## (2) 外部組織

### ア 総合計画審議会（令和6年度3回実施予定）

西条市総合計画審議会条例に基づき、市長の諮問に応じ、西条市総合計画に関する必要な事項について調査及び審議を行う。

## (3) 庁内組織

### ア 総合計画策定委員会

副市長及び教育長並びに部長級職員で総合計画策定委員会を組織し、計画策定に関する基本的な事項の決定、必要な資料の収集・整理、計画素案の作成を所管する。

### イ 総合計画策定委員会PT

上記の下部組織として、課長級からなるプロジェクトチームを設置し、計画策定にあたる実務的な体制を構築する。

## 6 策定スケジュール

### <令和5年度>

- ・市民アンケート調査の実施、集計・分析作業
- ・高校生アンケート調査の実施、集計・分析作業
- ・人口の現状分析、将来人口推計の分析作業
- ・第2期総合計画検証
- ・まちづくり検討会の開催
- ・総合計画策定委員会及びPT会議の開催
- ・基本構想素案（中間案）の作成
- ・総合戦略素案及び基本計画の大枠作成

### <令和6年度>

- ・総合計画審議会の開催
- ・パブリックコメントの実施
- ・基本構想案の最終調整
- ・市議会への報告及び基本構想案の上程（令和6年12月定例会）
- ・基本計画の策定及び庁内調整
- ・冊子デザイン及び印刷

## 7 その他

第3期西条市総合計画は、国・県の各種計画や市の個別計画との整合性に配慮するとともに、市長の施政方針に示された現状認識及び施策の方向を的確に捉えたものとする。